

第4章 施設整備にかかる検討

4-1. 県立具志川職業能力開発校の配置及び本館の施設構成

科の再編計画に基づき、県立具志川職業能力開発校における再編後の各科の配置計画イメージ図と計画規模（面積）および、具志川校本館の建て替え平面計画図（案）を示す。

4-1-1. 具志川校の改修の主な内容

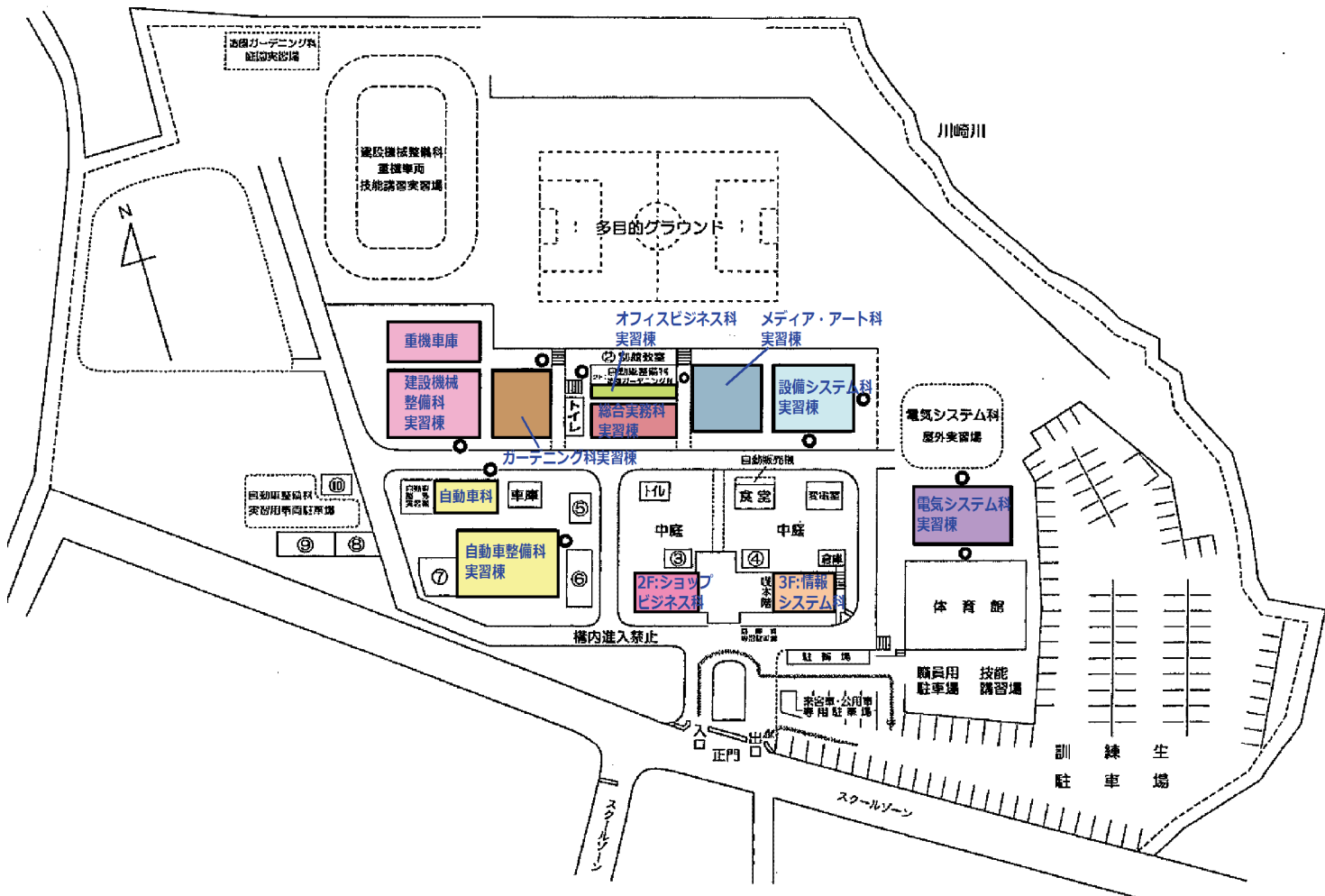
- ①仮設本館を設置し現本館を撤去、その後新本館建設
- ②建設機械整備科（実習棟）・重機（車庫）を自動車整備科（実習棟）・（車庫）に改修
- ③設備システム科（実習棟）を電気システム科（実習棟）に改修
- ④総合実務科（実習棟）撤去
- ⑤別館1階を食堂に改修、現食堂撤去

※現自動車整備科（実習棟）・電気システム科（実習棟）は既存配置のまま、内部を一部改修する。

※主要建物・付属建物等の改修は、建築仕上げ、電力設備、通信設備、LED照明、空調設備（または個別空調設備）、衛生設備、消火設備（屋内または泡）、屋外給水設備、屋外配水管などのうち、建物毎に必要な対象項目を判断して行うこととする。

4-1-2. 具志川校の配置計画

(1) 現況



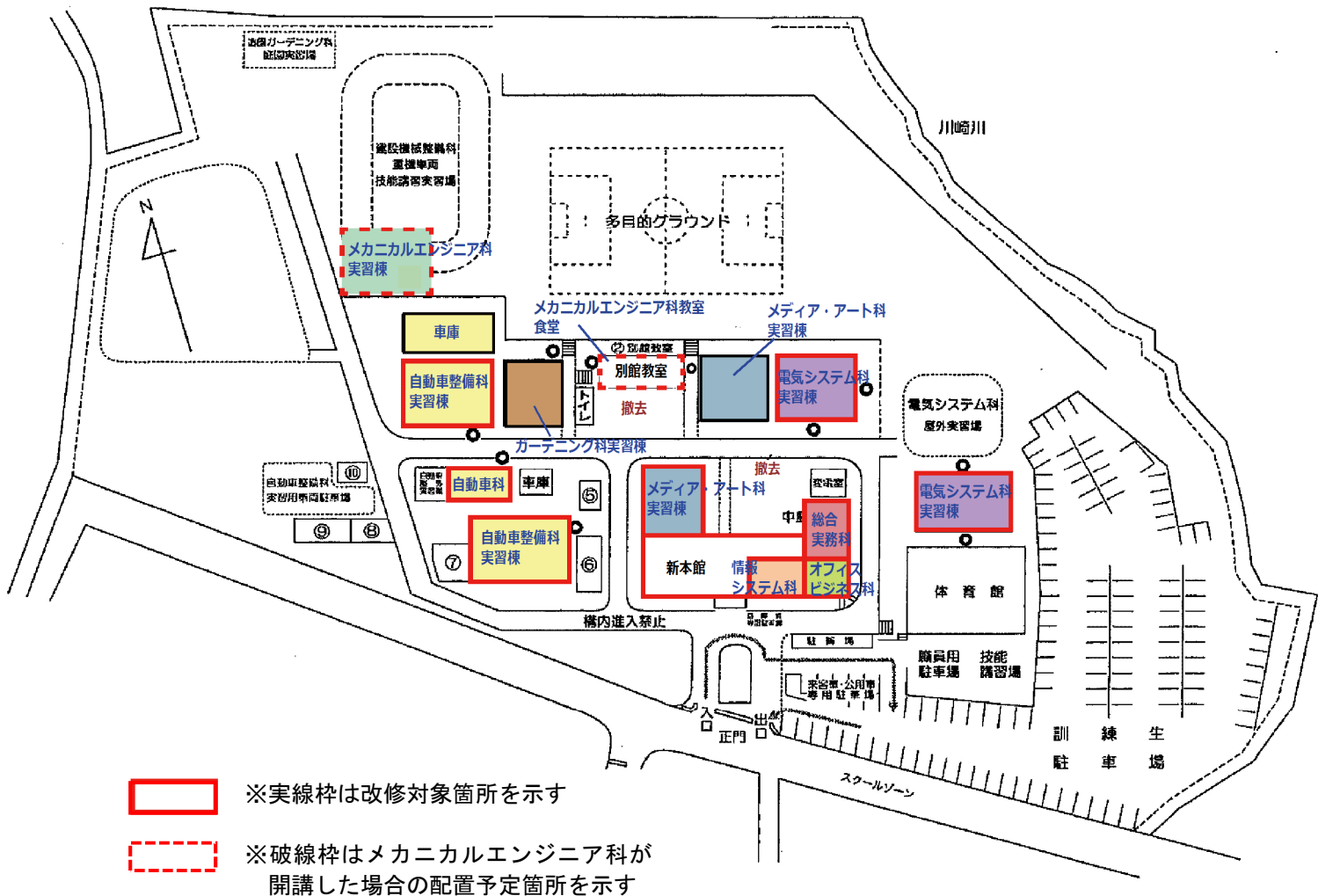
- 本館
 - 1 F 校長室
庶務・救護室・書庫
訓練指導班
 - 2 F 会議室・就職相談室
ショップビジネス科
メディア・アート科
設備システム科
建設機械整備科
 - 3 F 共用パソコン室
視聴覚教室
情報システム科
- 別館教室
 - 1 F オフィスビジネス科
 - 2 F 自動車整備科
造園ガーデニング科

- ・受水槽
- ・本館機械室
- ・油脂倉庫
- ・エンジン倉庫
- ・実習用自動車車庫
- ・自動車整備科洗車場
- ・浄化槽
- ・チリ捨て場
- ・喫煙場所

具志川校（現況）

	名称		用途	構造	面積
1	本館	3階	事務室及び教室	鉄筋コン	1706.45 m ²
2	別館	2階	自動車整備科教室	鉄筋コン	417.27 m ²
		1階	オフィスビジネス科教室		
3	実習棟	平屋	自動車整備科	鉄骨鉄筋コン	500.40 m ²
4	実習棟	平屋	自動車整備科	鉄骨	200.00 m ²
5	実習棟	平屋	設備システム科	鉄筋コン	388.00 m ²
6	実習棟	平屋	メディア・アート科	鉄筋コン	340.20 m ²
7	実習棟	平屋	電気システム科	鉄筋コン	539.97 m ²
8	実習棟	平屋	造園ガーデニング科	鉄骨鉄筋コン	187.20 m ²
9	実習棟	平屋	造園ガーデニング科	鉄骨鉄筋コン	151.20 m ²
10	実習棟	平屋	建設機械整備科	鉄骨鉄筋コン	480.20 m ²
11	実習棟	平屋	総合実務科	プレハブ	136.08 m ²
12	体育館	平屋		鉄筋コン	701.00 m ²
			小 計		5747.97 m ²
付 1	付属建物	平屋	建設機械整備科	鉄筋	212.50 m ²
付 2	付属建物	平屋	エンジン倉庫	鉄骨	144.00 m ²
付 3	付属建物	平屋	変電所	鉄筋コン	56.67 m ²
付 4	付属建物	平屋	食堂	プレハブ	79.50 m ²
付 5	付属建物	平屋	屋外便所	鉄筋コン	79.68 m ²
付 6	付属建物	平屋	危険物貯蔵所	鉄筋コン	21.38 m ²
付 7	付属建物	平屋	車庫	鉄筋コン	33.00 m ²
付 8	付属建物	平屋	実習用自動車車庫	鉄骨	104.00 m ²
付 9	付属建物	平屋	自動車整備科リフト上屋	鉄骨鉄筋コン	62.32 m ²
付 10	付属建物	平屋	書庫	ブロック	39.93 m ²
			小 計		832.98 m ²
			合 計		6580.95 m ²

(2) 改修後



- 新本館
- 1 F 校長室、教職員室、宿直室
訓練指導班、教職員更衣室
オフィスビジネス科（身障）
総合実務科（知障）
 - 2 F 共用パソコン室、救護室
会議室、就職相談室
メディア・アート科
視聴覚教室
電気システム科
自動車整備科
 - 3 F 情報システム科、倉庫
- 別館教室
- 1 F 食堂
 - 2 F (メカニカルエンジニア科)
(造園ガーデニング科)

- ・ 油脂倉庫
- ・ エンジン倉庫
- ・ 実習用自動車車庫
- ・ 自動車整備科洗車場
- ・ 浄化槽
- ・ チリ捨て場
- ・ (メカニカルエンジニア科実習棟)
- ・ 喫煙場所

具志川校（改修後）

【本館はB案】

	名称		用途	構造	面積
1	新本館	3階	事務室及び教室	鉄筋コン	3900.00 m ²
2	別館	2階	(メカニカルエンジニア科教室)	鉄筋コン	(417.27 m ²)
		1階	食堂		
3	実習棟	平屋	自動車整備科	鉄骨鉄筋コン	500.40 m ²
4	実習棟	平屋	自動車整備科	鉄骨	200.00 m ²
5	実習棟	平屋	電気システム科	鉄筋コン	388.00 m ²
6	実習棟	平屋	メディア・アート科	鉄筋コン	340.20 m ²
7	実習棟	平屋	電気システム科	鉄筋コン	539.97 m ²
8	実習棟	平屋	造園ガーデニング科	鉄骨鉄筋コン	187.20 m ²
9	実習棟	平屋	造園ガーデニング科	鉄骨鉄筋コン	151.20 m ²
10	実習棟	平屋	自動車整備科	鉄骨鉄筋コン	480.20 m ²
11	実習棟	平屋	総合実務科 →撤去	プレハブ	0.00 m ²
12	体育館	平屋		鉄筋コン	701.00 m ²
13	実習棟	平屋	(メカニカルエンジニア科)	(鉄筋コン)	(500.00 m ²)
			小 計		8305.44 m ²
付1	附属建物	平屋	建設機械整備科	鉄筋	212.50 m ²
付2	附属建物	平屋	エンジン倉庫	鉄骨	144.00 m ²
付3	附属建物	平屋	変電所	鉄筋コン	56.67 m ²
付4	附属建物	平屋	食堂 →撤去	プレハブ	0.00 m ²
付5	附属建物	平屋	屋外便所	鉄筋コン	79.68 m ²
付6	附属建物	平屋	危険物貯蔵所	鉄筋コン	21.38 m ²
付7	附属建物	平屋	車庫	鉄筋コン	33.00 m ²
付8	附属建物	平屋	実習用自動車車庫	鉄骨	104.00 m ²
付9	附属建物	平屋	自動車整備科リフト上屋	鉄骨鉄筋コン	62.32 m ²
付10	附属建物	平屋	書庫	ブロック	39.93 m ²
			小 計		753.48 m ²
			合 計		9058.92 m ²

※メカニカルエンジニア科の面積は参考値として個別に示しており、小計・合計には加えていない。

4-1-3. 具志川校本館の建て替え計画（案）

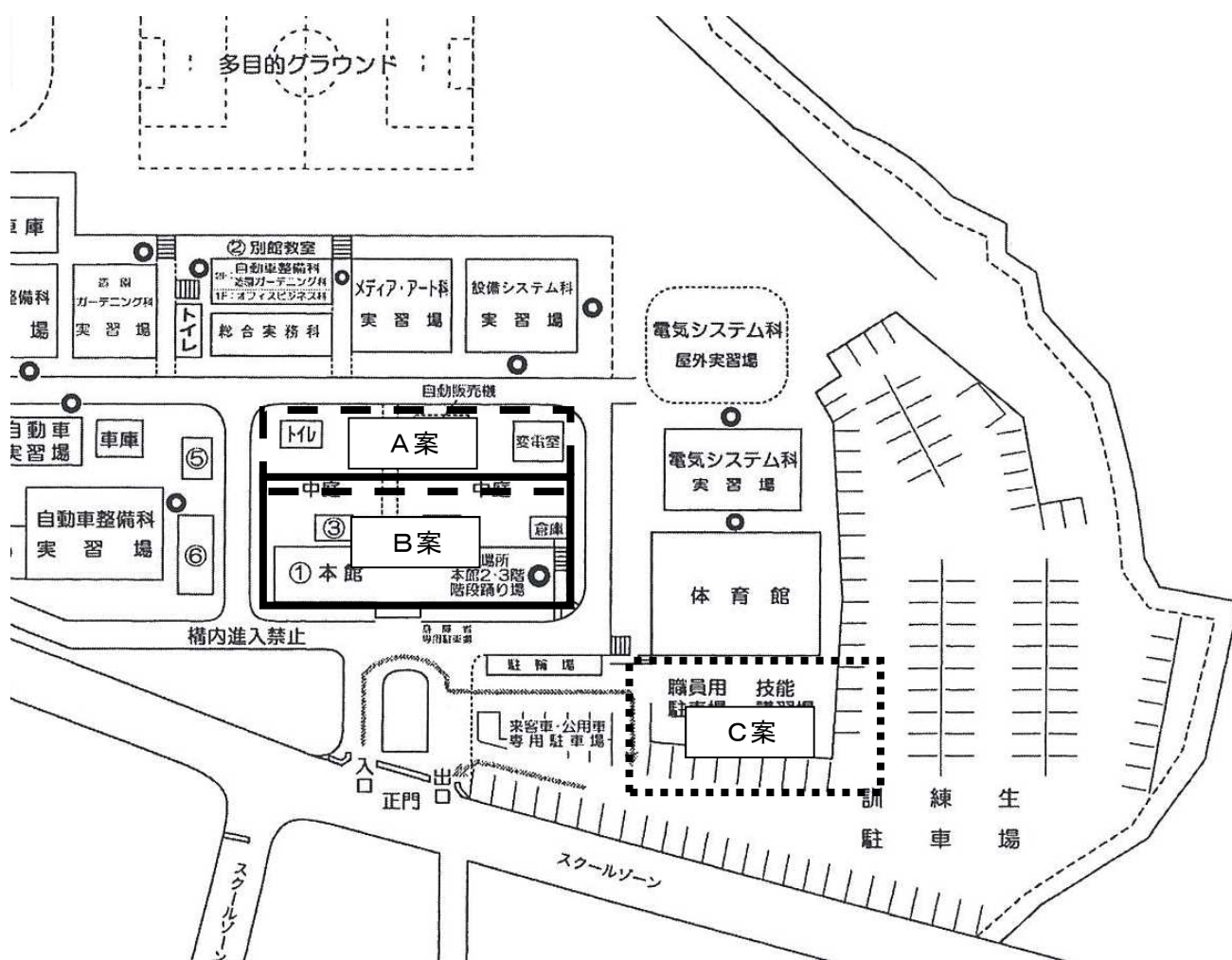
具志川校本館の建て替え計画（案）を作成する。今回、3案を作成し、それぞれの案の概要、概算工事費、メリット・デメリット、平面計画図を整理する。

A案：現在の本館の背後（北側）に新本館を建築し、機能を移転した後、旧本館等を解体撤去する案。旧本館から新本館へ直接移転できる利点がある一方、背後の限られた平地に建てるのが前提となり、床面積を確保するため高層化する。

B案：現在の本館から機能を仮移転した後、建物を解体撤去し、同じ位置に新本館を建築して移転する案。仮移転用建物の確保が必要となる一方、新本館の平面計画・各階計画を望ましいものとしやすい。

C案：現在の職員用駐車場・技能講習場（体育館の南側）を中心に、新本館を建設し、機能を移転した後、旧本館等を解体撤去する案。旧本館から新本館へ直接移転でき、平面計画・各階計画を望ましいものとしやすい一方、各訓練場から遠くなってしまうこと、代替の駐車場・訓練場を確保しなければならないこと、などの欠点も生じる。

各案の位置図



(1) 具志川校新本館計画 3案の比較検討

県立具志川職業能力開発校 新本館配置計画 比較検討表										
項目	A案			B案			C案			備考
計画案の概要	・敷地内に受変電室を本設移動し、電源供給元の盛替工事を行う。			・仮設本館（リース）を敷地内に設置、本館機能を一時移転。			・職員用駐車場、技能講習場に新本館を建設。			
	・食堂を敷地内に仮設（リース）設置し、後から別館1階を改修利用する。			・埋設配管類の盛替工事および、食堂、受変電室を残して既存施設を解体撤去する。			・隣接建築物との間に延焼ラインが生ずるため、体育館の改修が必要となる。			
	・埋設配管類の盛替工事および、トイレ、書庫、受変電室、食堂を解体撤去する。			・新本館を建設し、仮設本館から機能を移転。			・新本館完了後、旧本館および機械室、受水槽を解体撤去する。			
	・新本館を建替え後、機能を移転。			・別館1階を食堂に改修し、既設食堂を解体撤去。外構整備工事を行う。			・旧本館跡地を校庭（災害時一時避難場所）として整備する。			
	・旧本館、機械室、受水槽を解体撤去。									
配置計画図 1/800 (A3)										<p>■ 既存利用 ■ 新営工事</p>
	・延べ面積：約 4,166.00㎡ (1,260坪)			・延べ面積：約 3,770.00㎡ (1,140坪)			・延べ面積：約 3,830.50㎡ (1,160坪)			
	・建築面積：約 1,170.00㎡ (354坪)			・建築面積：約 1,480.00㎡ (450坪)			・建築面積：約 1,357.00㎡ (410坪)			
	・階数：地上5階、塔屋1階			・階数：地上3階、塔屋1階			・階数：地上3階、塔屋1階			
	・建物高さ：約 24.7m (想定高さ＝1階床面0.1m＋階高4.0m×6層＋パラペット0.6m)			・建物高さ：約 16.7m (想定高さ＝1階床面0.1m＋階高4.0m×4層＋パラペット0.6m)			・建物高さ：約 16.7m (想定高さ＝1階床面0.1m＋階高4.0m×4層＋パラペット0.6m)			
概算工事費	項目	摘要	金額	項目	摘要	金額	項目	摘要	金額	
	・仮設リース費	仮食堂 1階建て (80㎡)	8,150,000	・仮設リース費	仮本館 2階建て 17.1m×68.4m (2,339.28㎡)	175,000,000	・仮設リース費	なし	0	業者見積り参考
		リース期間18ヵ月			リース期間12ヵ月					
	・解体撤去工事	(アスベスト除去、PCB分析撤去費を除く)		・解体撤去工事	(アスベスト除去、PCB分析撤去費を除く)		・解体撤去工事	(アスベスト除去、PCB分析撤去費を除く)		※現場調査により変動する
		本館 (S50、RC造/地上3階・塔屋2階/約1,620㎡)	48,600,000		本館 (S50、RC造/地上3階・塔屋2階/約1,620㎡)	48,600,000		本館 (S50、RC造/地上3階・塔屋2階/約1,620㎡)	48,600,000	単価 30,000円/㎡ (ヒヤリング)
		機械室 (RC造/地上1階/約60㎡)	1,200,000		機械室 (RC造/地上1階/約60㎡)	1,200,000		機械室 (RC造/地上1階/約60㎡)	1,200,000	単価 20,000円/㎡ (ヒヤリング)
		受水槽 (RC造/地上1階/約10㎡)	200,000		受水槽 (RC造/地上1階/約10㎡)	200,000		受水槽 (RC造/地上1階/約10㎡)	200,000	単価 20,000円/㎡ (ヒヤリング)
		書庫 (RC造/地上1階/約40㎡)	800,000		書庫 (RC造/地上1階/約40㎡)	800,000				単価 20,000円/㎡ (ヒヤリング)
		トイレ (RC造/地上1階/約45㎡)	900,000		トイレ (RC造/地上1階/約45㎡)	900,000				単価 20,000円/㎡ (ヒヤリング)
		食堂 (プレハブS造/地上1階/約80㎡)	1,600,000		食堂 (プレハブS造/地上1階/約80㎡)	1,600,000				単価 20,000円/㎡ (ヒヤリング)
		受変電室 (RC造/地上1階/約55㎡)	1,100,000							単価 20,000円/㎡ (ヒヤリング)
	・新営工事	新本館 (RC造/地上5階・塔屋1階/約4,200㎡)	1,400,000,000	・新営工事	新本館 (RC造/地上3階・塔屋1階/約3,900㎡)	1,300,000,000	・新営工事	新本館 (RC造/地上3階・塔屋1階/約3,900㎡)	1,300,000,000	単価 1,100,000円/坪 (想定)
		受変電室 (RC造/地上1階/約60㎡)	10,000,000							単価 550,000円/坪 (想定)
	・改修工事	食堂 (別館1階/約80㎡) 単価 300,000円/坪 (想定)	7,300,000	・改修工事	食堂 (別館1階/約80㎡) 単価 300,000円/坪 (想定)	7,300,000	・改修工事	体育館 (防火設備建具の改修費)	15,000,000	業者見積り参考
		合計	1,479,850,000		合計	1,535,600,000		合計	1,365,000,000	移転費、埋設管の盛替工事費等を除く
校庭の状況	・校庭としての利用可能面積は広い。南側配置となり、日当たりが良い。			・建築面積が大きいため校庭は狭い。北側配置で日当たりが、あまり良くない。			・既存本館跡地を利用するため広い校庭が確保できる。			
最短工事期間	約18ヶ月 (解体2ヵ月＋新営14ヶ月＋解体2ヶ月)			約12ヶ月 (解体2ヶ月＋新営10ヶ月)			約12ヶ月 (新営10ヶ月＋解体2ヶ月)			
メリット	・南側を駐車スペースや集合場所、将来建替え用地としての利用が可能。			・平面プランの形状に自由度が高く、職員の意見を反映しやすい。			・平面プランの形状に自由度が高く、職員の意見を反映しやすい。			
	・仮設本館のコストが不要、引っ越しが1度で済むなど効率的で費用負担の軽減が期待できる			・低層のため利用者の昇降に負担が少なく、避難上有利。また、管理も目が行き届きやすい。			・低層のため利用者の昇降に負担が少なく、避難上有利。また、管理も目が行き届きやすい。			
デメリット	・建築可能域に制限があるため、面積の大きな室が計画し難く、平面プランの自由度は低くなる。			・3案でもっとも概算工事費が高くなる。また、本館を2度移転するため、引っ越し費用も高くなる。			・隣接する既存体育館との間に延焼ラインが発生するため、建具改修が必要となる。			
	・階数が多くタテ動線が長くなるため、3案でもっとも利便性が劣る。			・災害時一時避難場所、屋外実習場などの空間が確保できない。			・代替の職員用駐車場、技能講習場整備が必要となる。			

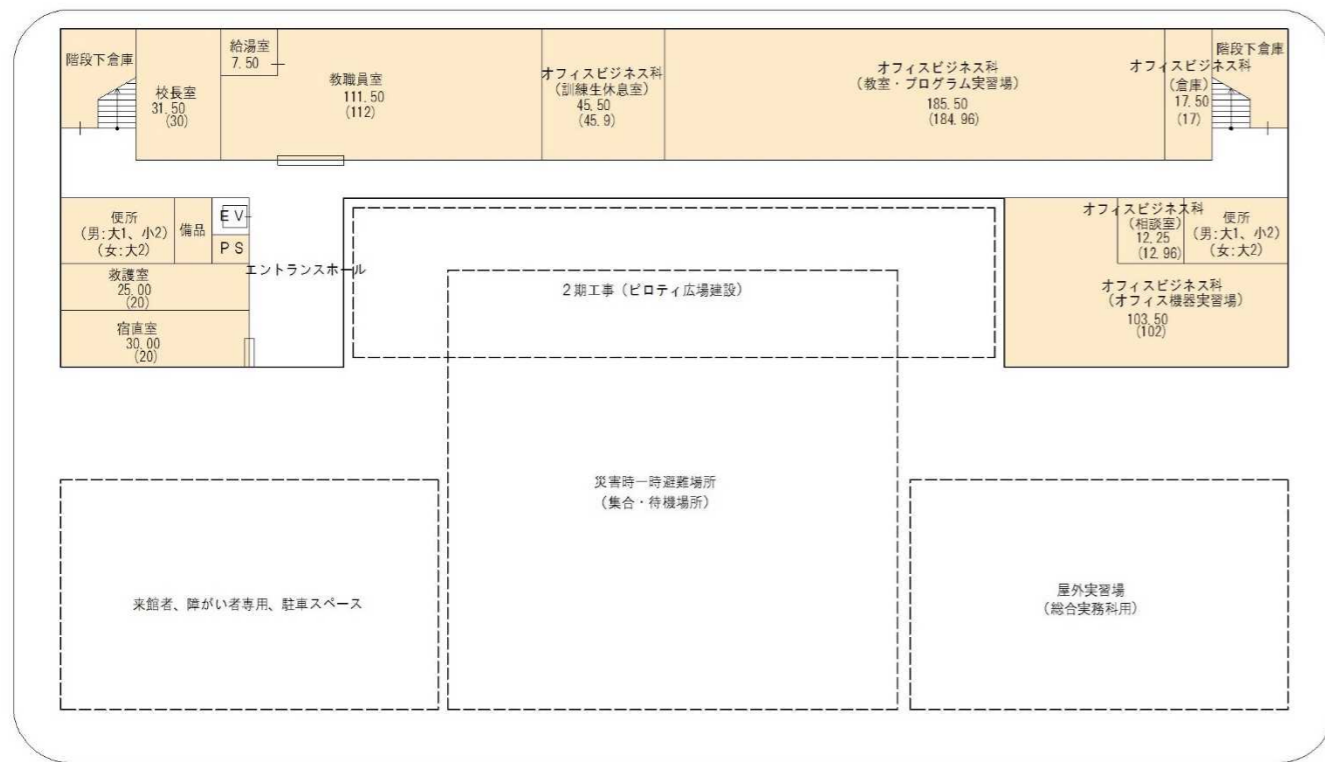
本館A案



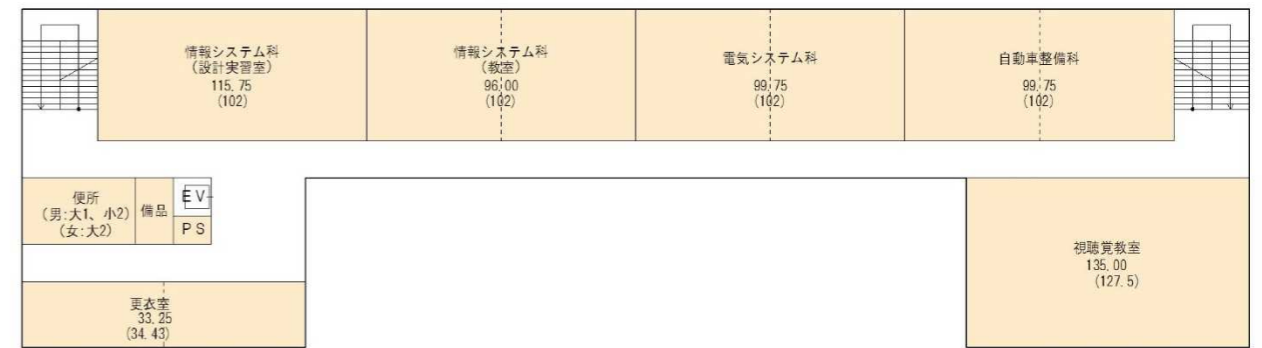
2階平面図 (S1:400)855.00㎡



5階平面図 (S1:400)690.00㎡



1階平面図 (S1:400) 855.00㎡



4階平面図 (S1:400)855.00㎡



3階平面図 (S1:400)855.00㎡



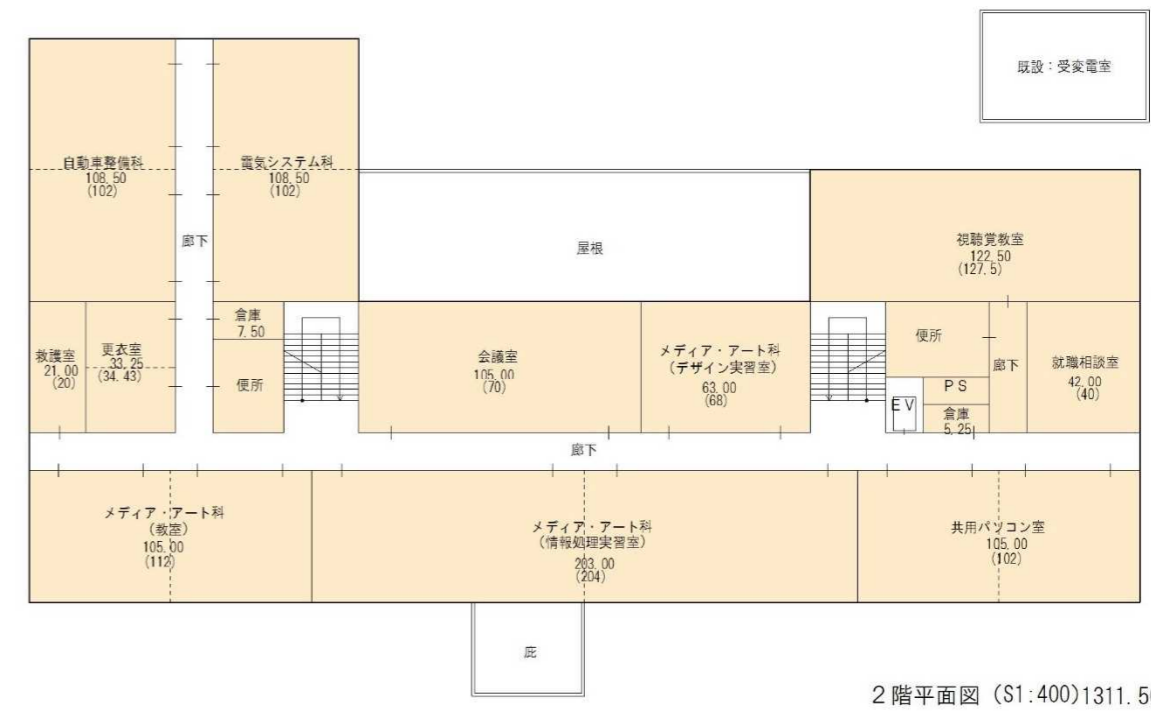
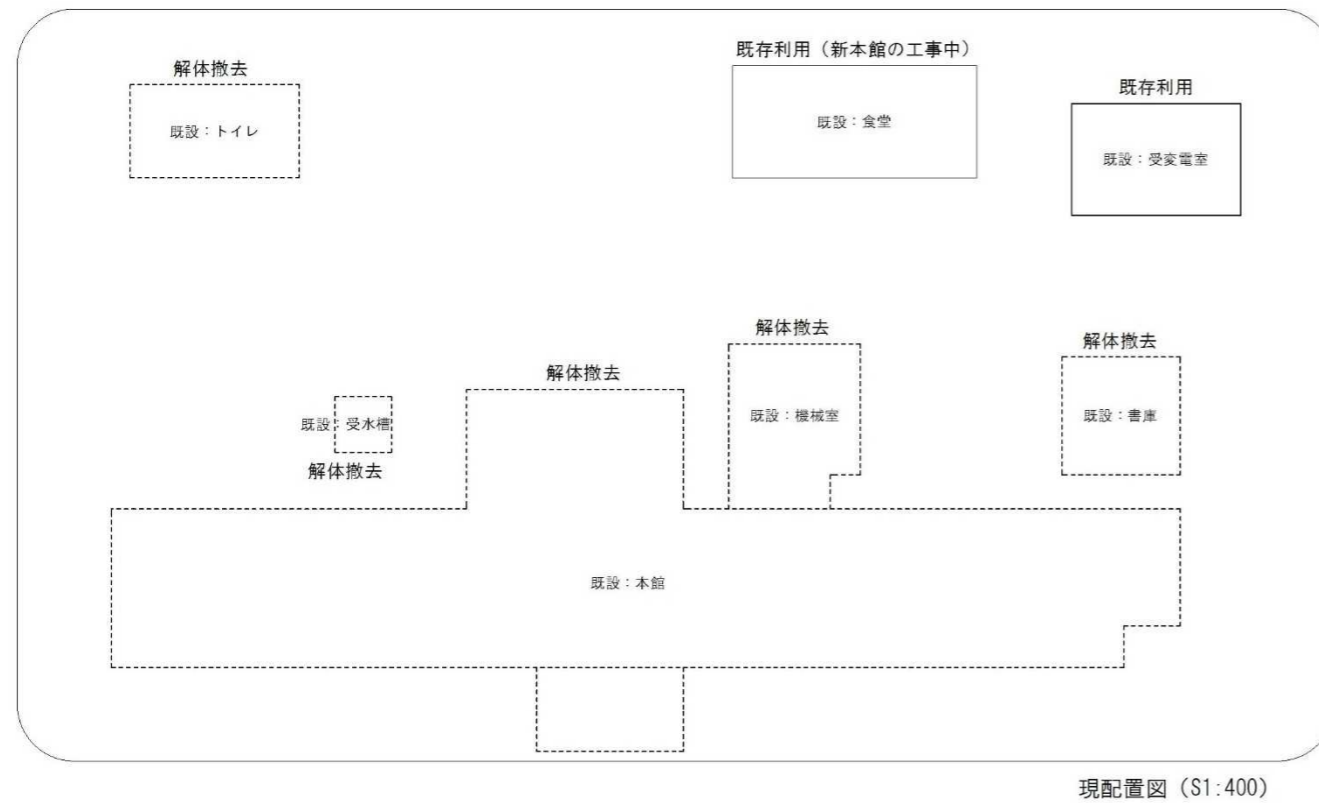
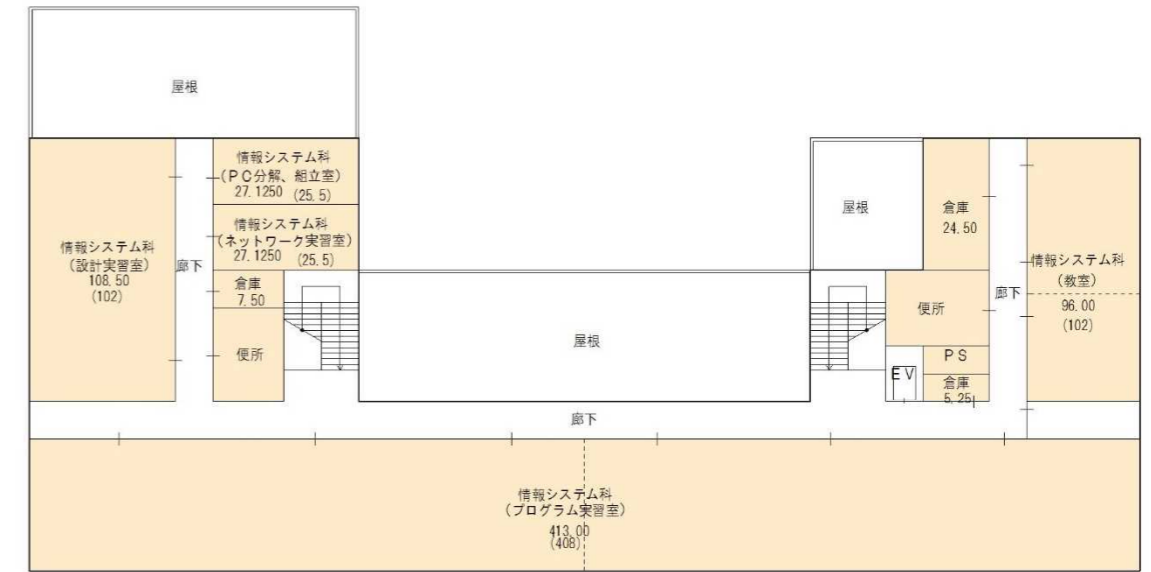
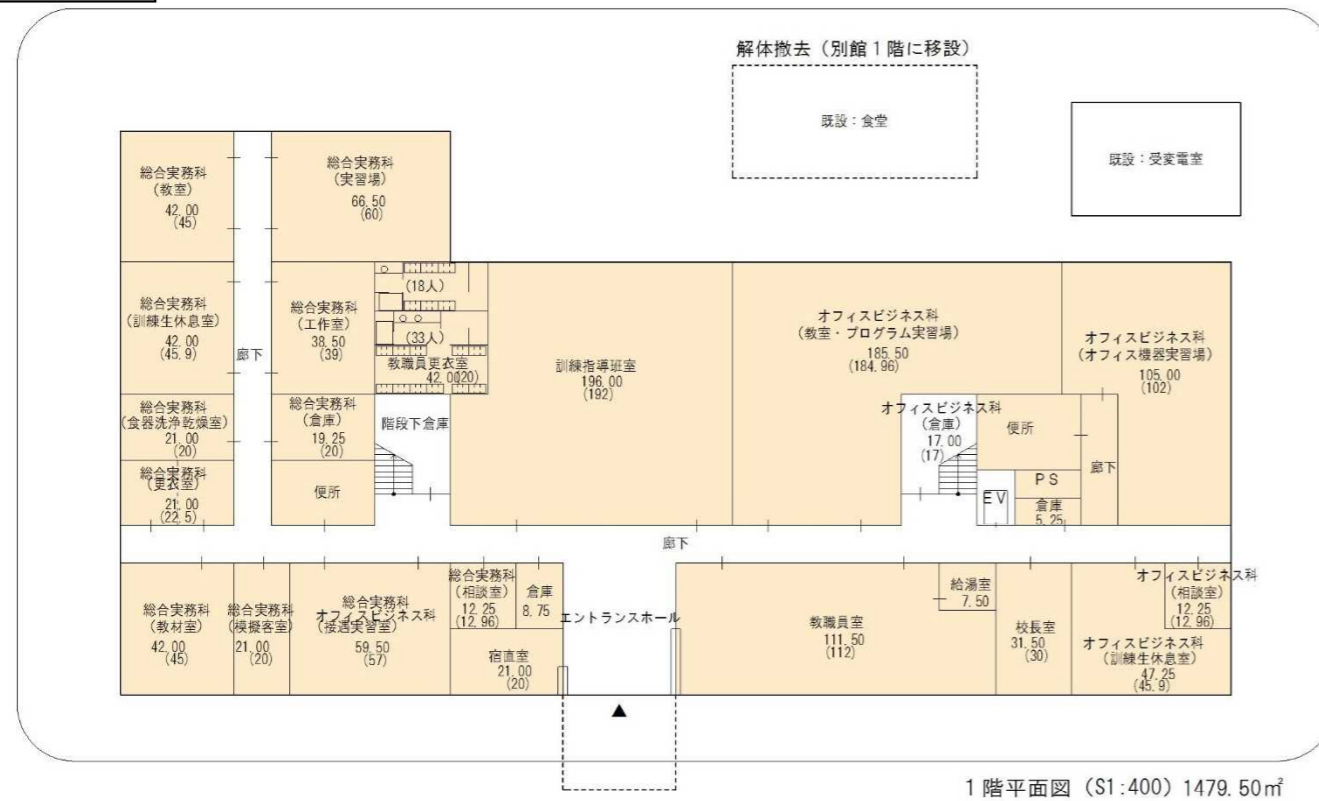
県立具志川職業能力開発校 新本館配置計画 A案

凡例

室名
計画面積
(県算定面積)

床面積
合計 4110.00㎡

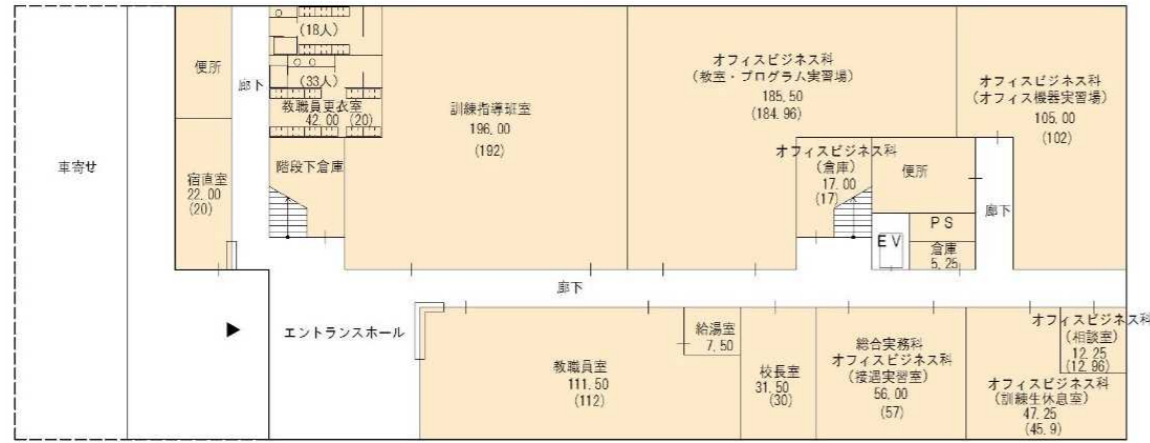
本館B案



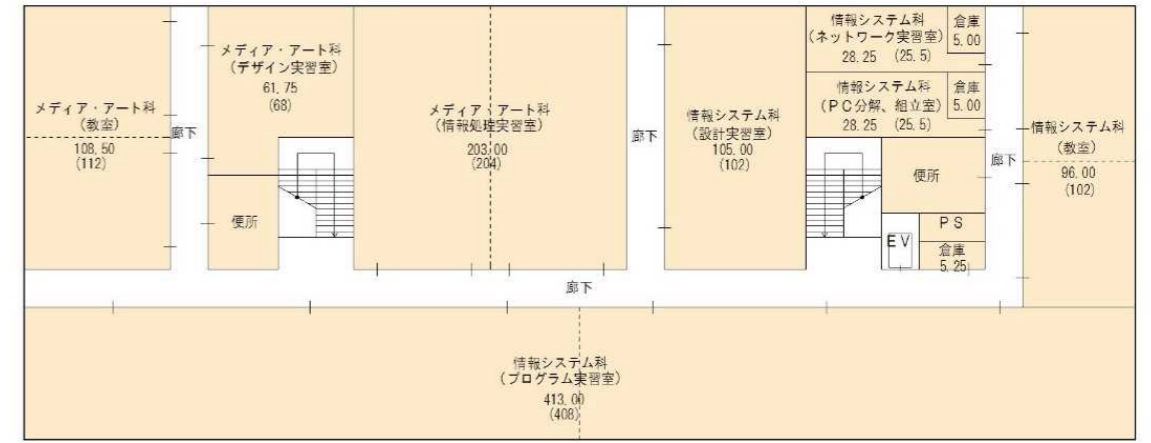
県立具志川職業能力開発校 新本館配置計画 B案

凡例
 室名
 計画面積
 (県算定面積)
 床面積
 合計 3770.00㎡

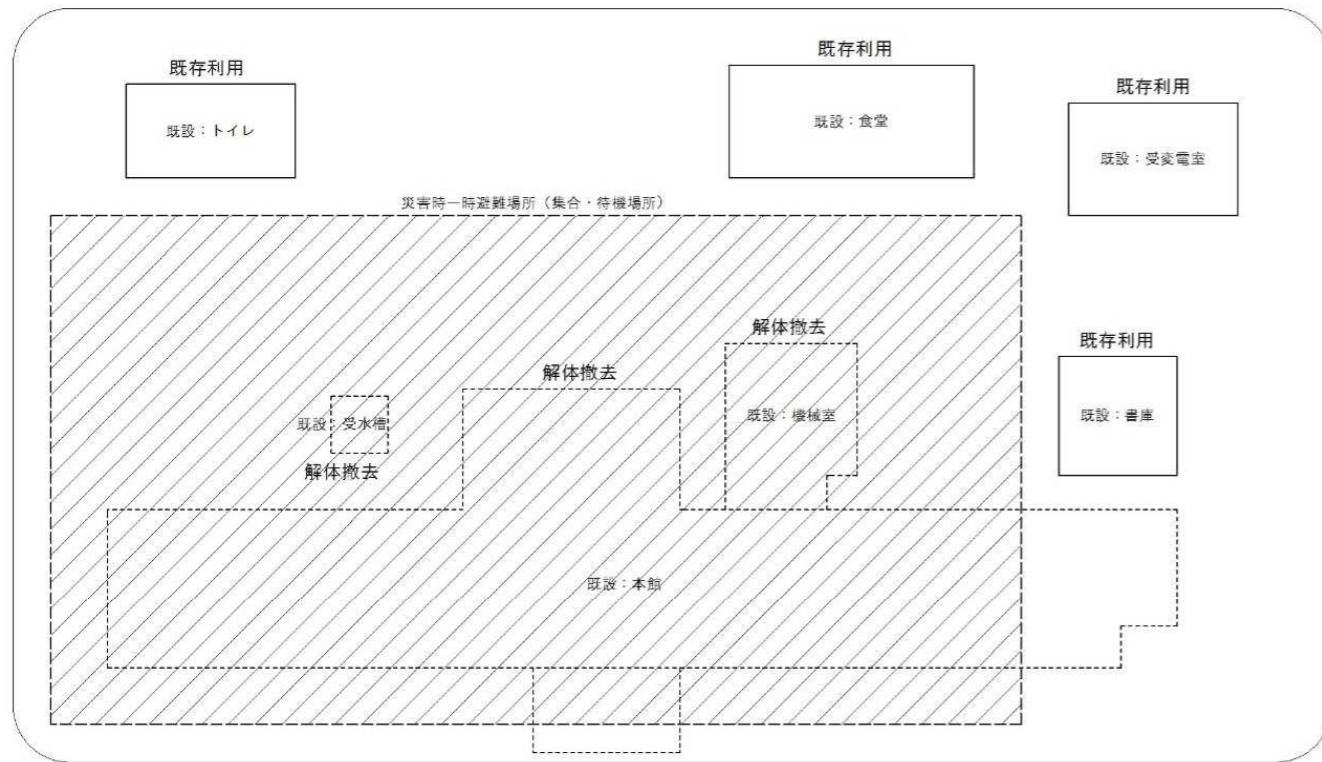
本館C案



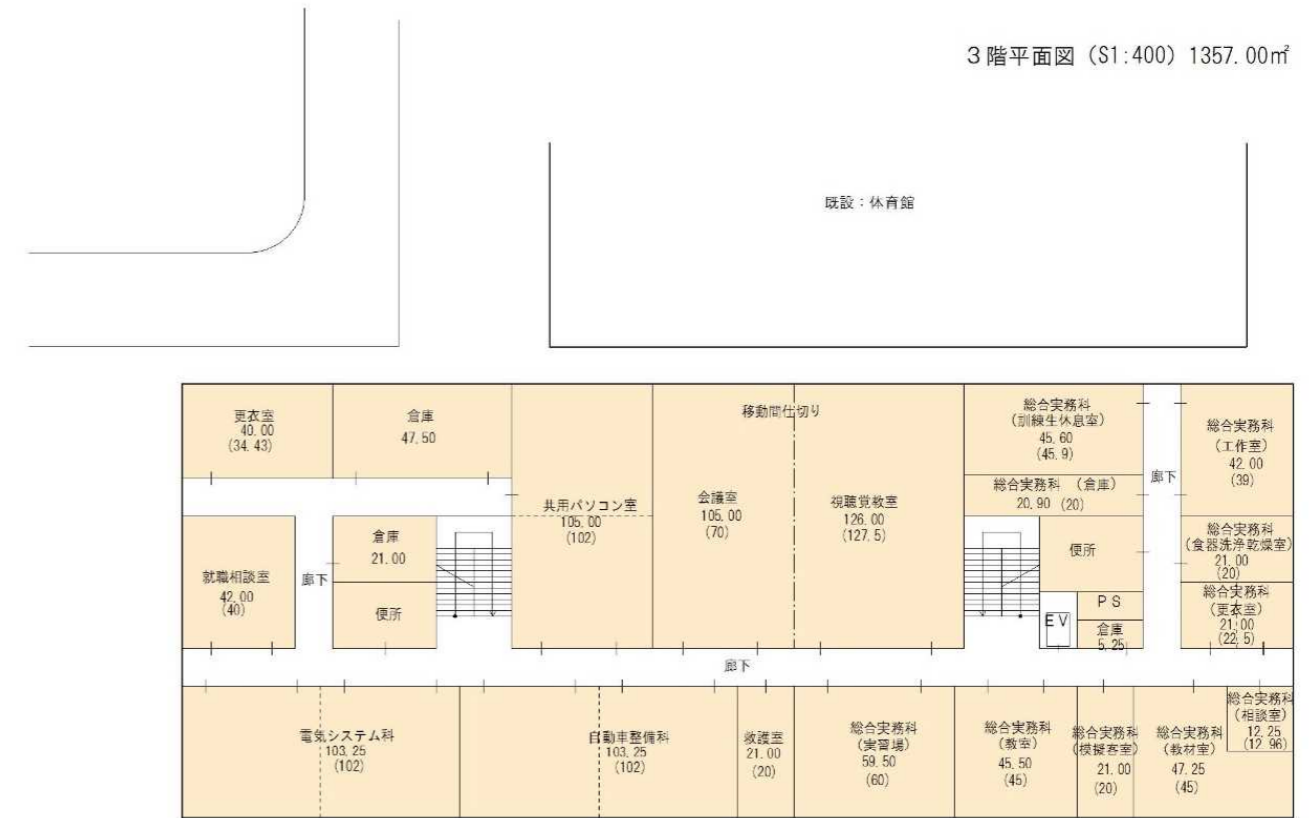
1階平面図 (S1:400) 1116.50㎡



3階平面図 (S1:400) 1357.00㎡



配置図 (S1:400)



2階平面図 (S1:400) 1357.00㎡

県立具志川職業能力開発校 新本館配置計画 C案

凡例
 室名
 計画面積
 (黒算定面積)
 床面積
 合計 3830.50㎡

4-2. 県立浦添職業能力開発校の配置

科の再編計画に基づき、県立浦添職業能力開発校における再編後の各科の配置計画イメージ図と計画規模（面積）を示す。

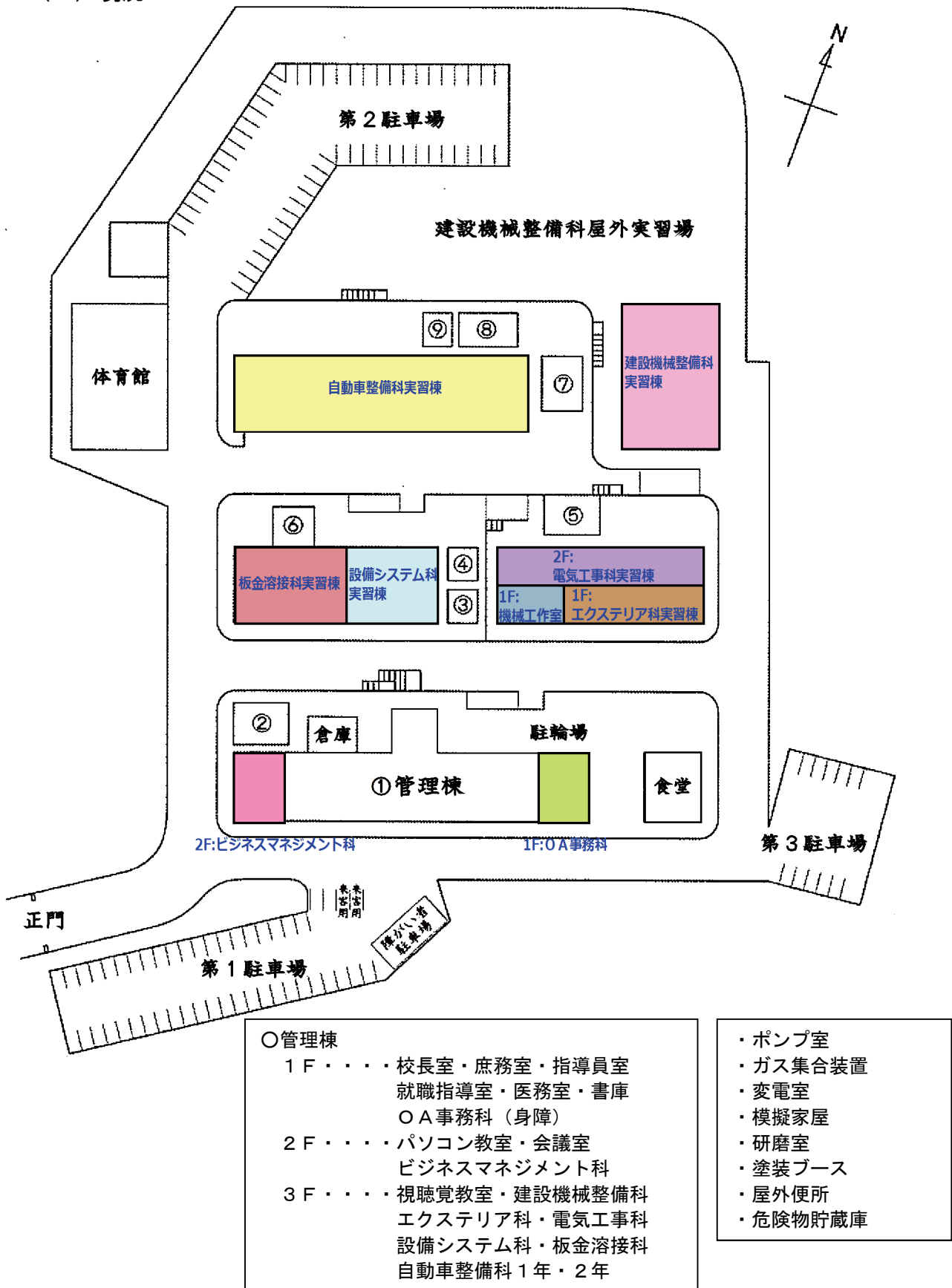
4-2-1. 浦添校の改修の主な内容

- ①板金溶接科（実習棟）・設備システム科（実習棟）を金属加工科（実習棟）に改修
- ②自動車整備科（実習棟）を建設機械整備科（実習棟）に改修
- ③建設機械整備科（実習棟）の一部を設備システム科（実習棟）に改修
- ④ビジネスマネジメント科の一部を女子更衣室に改修
- ⑤0A 事務科をオフィスビジネス科に改修

※主要建物・付属建物等の改修は、建築仕上げ、電力設備、通信設備、LED 照明、空調設備（または個別空調設備）、衛生設備、消火設備（屋内または泡）、屋外給水設備、屋外配水管などのうち、建物毎に必要な対象項目を判断して行うこととする。

4-2-2. 浦添校の配置計画

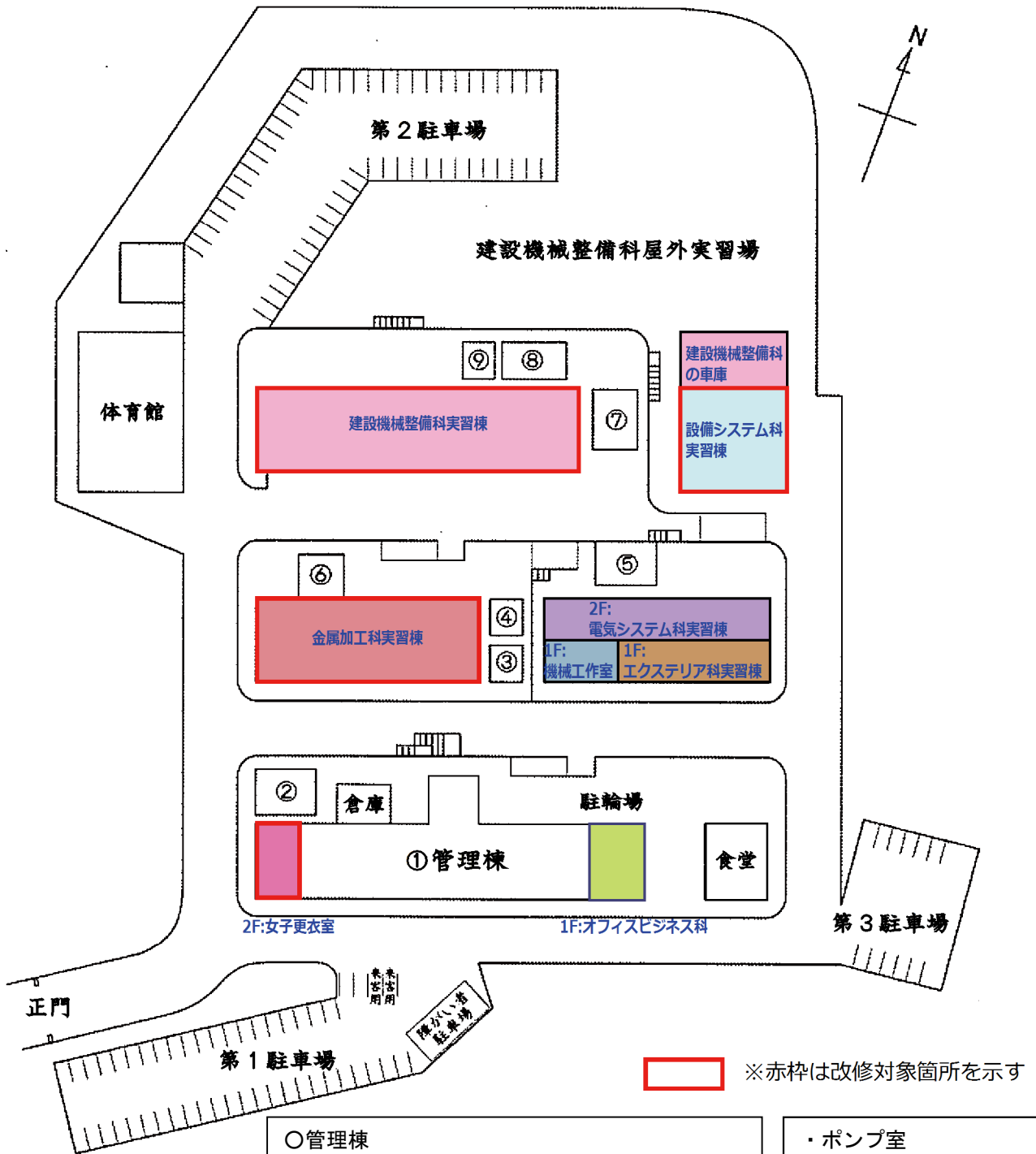
(1) 現況



浦添校（現況）

	名称		用途	構造	面積
1	管理棟	3階	事務室及び教室	鉄筋コン	2357.12 m ²
2	実習棟	平屋	自動車整備科実習棟	鉄骨鉄筋コン	1322.00 m ²
3	実習棟	平屋	建設機械整備科実習棟	鉄骨鉄筋コン	750.00 m ²
4	実習棟	平屋	設備システム科及び 板金溶接科実習棟	鉄骨鉄筋コン	770.40 m ²
5	実習棟	2階	電気工事科実習棟	鉄骨鉄筋コン	871.20 m ²
		1階	エクステリア科実習棟	鉄骨鉄筋コン	580.80 m ²
		1階	機械工作実習室	鉄骨鉄筋コン	290.40 m ²
6	体育館	平屋			765.00 m ²
			小 計		7706.92 m ²
付1	付属建物	平屋	変電室	鉄筋コン	50.05 m ²
付2	付属建物	平屋	ポンプ室	鉄筋コン	44.10 m ²
付3	付属建物	平屋	模擬家屋	鉄筋コン	26.93 m ²
付4	付属建物	平屋	危険物貯蔵庫	ブロック	14.10 m ²
付5	付属建物	平屋	屋外便所	ブロック	30.00 m ²
付6	付属建物	平屋	ガス集合装置	ブロック	30.00 m ²
付7	付属建物	平屋	塗装ブース	軽量鉄骨	66.00 m ²
付8	付属建物	平屋	研磨室	ブロック	25.83 m ²
付9	付属建物	平屋	食堂	鉄骨	103.68 m ²
付10	付属建物	平屋	倉庫	プレハブ	37.21 m ²
			小 計		427.90 m ²
			合 計		8134.82 m ²

(2) 改修後



- 管理棟
- 1F・・・校長室・庶務室・指導員室
就職指導室・医務室・書庫
オフィスビジネス科(身障)
- 2F・・・パソコン教室・会議室
- 3F・・・視聴覚教室・建設機械整備科
電気システム科
設備システム科
金属加工科
(エクステリア科)

- ・ポンプ室
- ・ガス集合装置
- ・変電室
- ・模擬家屋
- ・研磨室
- ・塗装ブース
- ・屋外便所
- ・危険物貯蔵庫

浦添校（改修後）

	名称		用途	構造	面積
1	管理棟	3階	事務室及び教室	鉄筋コン	2357.12 m ²
2	実習棟	平屋	建設機械整備科実習棟	鉄骨鉄筋コン	1322.00 m ²
3	実習棟	平屋	建設機械整備科実習棟及び 設備システム科	鉄骨鉄筋コン	750.00 m ²
4	実習棟	平屋	金属加工科実習棟	鉄骨鉄筋コン	770.40 m ²
5	実習棟	2階	電気システム科実習棟	鉄骨鉄筋コン	871.20 m ²
		1階	エクステリア科実習棟	鉄骨鉄筋コン	580.80 m ²
		1階	機械工作実習室	鉄骨鉄筋コン	290.40 m ²
6	体育館	平屋		鉄骨鉄筋コン	765.00 m ²
			小 計		7706.92 m ²
付 1	付属建物	平屋	変電室	鉄筋コン	50.05 m ²
付 2	付属建物	平屋	ポンプ室	鉄筋コン	44.10 m ²
付 3	付属建物	平屋	模擬家屋	鉄筋コン	26.93 m ²
付 4	付属建物	平屋	危険物貯蔵庫	ブロック	14.10 m ²
付 5	付属建物	平屋	屋外便所	ブロック	30.00 m ²
付 6	付属建物	平屋	ガス集合装置	ブロック	30.00 m ²
付 7	付属建物	平屋	塗装ブース	軽量鉄骨	66.00 m ²
付 8	付属建物	平屋	研磨室	ブロック	25.83 m ²
付 9	付属建物	平屋	食堂	鉄骨	103.68 m ²
付 10	付属建物	平屋	倉庫	プレハブ	37.21 m ²
			小 計		427.90 m ²
			合 計		8134.82 m ²

4－3. 施設整備の事業費概算

県立具志川職業能力開発校および県立浦添職業能力開発校の再編に伴い、建物改修等にかかる事業費の概算を示す。

なお、主要建物・付属建物等の改修費については、建築仕上げ、電力設備、通信設備、LED照明、空調設備（または個別空調設備）、衛生設備、消火設備（屋内または泡）、屋外給水設備、屋外配水管などのうち、建物毎に必要な対象項目を判断して算出した。

また、再編にあわせた開講を見送ったメカニカルエンジニア科については（面積のみを示し）面積・金額の小計・合計には加えないこととした。

(1) 具志川校の施設整備にかかる事業費概算

具志川校【本館はB案】

	名称		用途	面積	金額(千円)
1	新本館	3階	事務室及び教室	3,900.00 m ²	1,534,000
2	別館	2階	(メカニカルエンジニア科教室)	417.27 m ²	
		1階	食堂		
3	実習棟	平屋	自動車整備科	500.40 m ²	55,132
4	実習棟	平屋	自動車整備科	200.00 m ²	14,921
5	実習棟	平屋	電気システム科	388.00 m ²	28,946
6	実習棟	平屋	メディア・アート科	340.20 m ²	0
7	実習棟	平屋	電気システム科	539.97 m ²	46,279
8	実習棟	平屋	造園ガーデニング科	187.20 m ²	0
9	実習棟	平屋	造園ガーデニング科	151.20 m ²	0
10	実習棟	平屋	自動車整備科	480.20 m ²	52,926
11	実習棟	平屋	総合実務科 →撤去	136.08 m ²	2,720
12	体育館	平屋		701.00 m ²	0
13	実習棟	平屋	(メカニカルエンジニア科)	(500.00 m ²)	
			本館以外小計	3,624.25 m ²	200,924
			本館含む小計	7,524.25 m ²	1,734,924
付1	附属建物	平屋	建設機械整備科	212.50 m ²	0
付2	附属建物	平屋	エンジン倉庫	144.00 m ²	0
付3	附属建物	平屋	変電所	56.67 m ²	22,894
付4	附属建物	平屋	食堂 →撤去	79.50 m ²	1,600
付5	附属建物	平屋	屋外便所	79.68 m ²	0
付6	附属建物	平屋	危険物貯蔵所	21.38 m ²	0
付7	附属建物	平屋	車庫	33.00 m ²	0
付8	附属建物	平屋	実習用自動車車庫	104.00 m ²	0
付9	附属建物	平屋	自動車整備科リフト上屋	62.32 m ²	0
付10	附属建物	平屋	書庫	39.93 m ²	0
			附属建物小計	832.98 m ²	24,494
			具志川校本館以外小計	4,457.23 m ²	225,418
			合計	8,357.23 m ²	1,759,418

(2) 浦添校の施設整備にかかる事業費概算

浦添校

	名称		用途	面積	金額(千円)
1	管理棟	3階	事務室及び教室	2357.12 m ²	6,597
2	実習棟	平屋	建設機械整備科実習棟	1322.00 m ²	146,824
3	実習棟	平屋	建設機械整備科実習棟及び設備システム科	750.00 m ²	74,975
4	実習棟	平屋	金属加工科実習棟	770.40 m ²	50,123
5	実習棟	2階	電気システム科実習棟	871.20 m ²	0
		1階	エクステリア科実習棟	580.80 m ²	0
		1階	機械工作実習室	290.40 m ²	0
6	体育館	平屋		765.00 m ²	0
			小 計	7706.92 m ²	
付1	附属建物	平屋	変電室	50.05 m ²	0
付2	附属建物	平屋	ポンプ室	44.10 m ²	0
付3	附属建物	平屋	模擬家屋	26.93 m ²	0
付4	附属建物	平屋	危険物貯蔵庫	14.10 m ²	0
付5	附属建物	平屋	屋外便所	30.00 m ²	0
付6	附属建物	平屋	ガス集合装置	30.00 m ²	0
付7	附属建物	平屋	塗装ブース	66.00 m ²	0
付8	附属建物	平屋	研磨室	25.83 m ²	0
付9	附属建物	平屋	食堂	103.68 m ²	0
付10	附属建物	平屋	倉庫	37.21 m ²	0
			小 計	427.90 m ²	
			合 計	8,134.82 m ²	278,519

4-4. 訓練機材の購入費・移設費の概算

科の再編にあたり、具志川校は主に、自動車整備科と電気システム科の再配置と、建設機械整備科と設備システム科の浦添校への移転があり、浦添校は主に、設備システム科、建設機械整備科、電気工事科、板金溶接科の再配置と、自動車整備科の具志川校への移転がある。

これらに伴い、必要となる機材のコスト等を概算した。

(1) 具志川校の訓練機材の購入費・移設費概算

具志川校		(千円)
自動車整備科	機 材	計
移設費用	ボール盤、旋盤、インジェクションポンプテスター	60,197
購入費用	塗装ブース、ブレーキ、スピードテスタ、シャシダイナモ、リフト×3、実習車両(電気自動車)	
電気システム科	機 材	計
購入費用	移動式電気工事实習台×22、移動式重量作業台×12、卓上ボール盤、両頭グラインダー、卓上型携帯万能ノコ盤、ベルトディスクサンダー、エアコンプレッサー、3Dプリンタ、高所作業車、受変電設備(キュービクル)×2、アーク溶接×10、模擬家屋 10畳2階建て×2	46,569
建設機械整備科	機 材	計
移設費用	直立ボール盤、旋盤、シェーパー、両頭グラインダー×2、油圧プレス、門型2柱リフト、天井クレーンレール、工作室増設×2、重機移動1式	9,190
撤去	インジェクションポンプテスター	
設備システム科	機 材	計
移設費用	空気調節装置、冷却塔、消火栓ポンプユニット×3、貯水装置、旋盤、ボール盤	14,610
撤去・移動	空気調節装置×4、冷却塔、ボイラー、本館内消防設備機器、本館内空調設備機器	
具志川校合計		130,566

(2) 浦添校の訓練機材の購入費・移設費概算

浦添校

(千円)

板金溶接科	機 材	計
移設費用	旋盤×2、プレスブレーキ、クリーンカッター、動力シャー、高速カッター、万能曲げ機、3本ローラー、両頭グラインダー、ボール盤×2、足踏みシャー、手アーク溶接機、TIG溶接機、炭酸ガスアーク溶接機、プラズマ切断機、エアコンプレッサー、自動開先加工機、溶接ブース及びダクト、集塵機	15,029
設備システム科	機 材	計
購入費用	空気調和実習装置	40,000
電気工事科	機 材	計
購入費用	誘導電圧調整器（単相）、誘導電圧調整器（三相）、電動機発電機実験装置×2、模型配線工事实習装置、受変電設備（キュービクル）、シーケンサ（PLC）、火災報知器実験装置	29,470
建設機械整備科	機 材	計
購入費用	自動車排ガス測定器、オシロスコープ	1,080
自動車整備科	機 材	計
移設費用	動力計、実習教材車両、ハイブリットシステム・カットモデル、エンジン・クレーン、オイル・チェンジャー、ベンチエンジン、タイヤ・チェンジャー、ホイール・バルンサー、ミッション・リフト、交流アーク溶接機、卓上ボール盤	2,135
浦添校合計		87,714

(3) 具志川校・浦添校の訓練機材の購入費・移設費概算合計

(千円)

具志川校・浦添校合計	218,280
------------	---------